

提出日 2018年12月7日

氏名:青木 佳子

所属:生産技術研究所

学年または身分:特任助教

研鑽タイトル Research Title

北欧におけるリビングラボ の取り組み視察と意見交換

研修概要 Research outline

北欧を初めとした各国では、地域の課題解決に向けて、産官学連携の取り組みをおこなう「リビングラボ」という連携が実施されている。近年この取り組みは世界中で注目され始めており、ヨーロッパだけでなく、世界各国で様々な題材を切り口としたリビングラボ が設置されている。しかしながら、リビングラボ は我が国では、その概念や具体的な取り組みについてはあまり知られていない。

本研修では、リビングラボの具体的な例を視察すると同時に、リビングラボを統括している Living Lab ENoLL Office にて、世界中のリビングラボ事例を紹介してもらうことで、産官学連携の手法において、我が国の新しい展開可能性を見出すことができた。

研修先について About the laboratory visited

研修先として、まず、Living Lab ENoLL Office を訪問した。ENoLL Office では、世界中のリビングラボの活動を統括しており、それぞれの活動拠点の情報をアーカイブして、人材データを作成している。また、EU 等を初めとした行政などから、一つのテーマ課題を与えられれば、そのテーマを解決できうるチームを ENoLL メンバーとしてに登録している人材バンクより抽出し、協働チームをつくるなどの活動も行なっている。基本的な連携体制としては、行政と民間と大学が連携を取り合っており、国家政策や EU の調査データのニーズに応じて、その3者の関与する割合も異なる。

また、ENoLL Office では、年に1回、世界中のリビングラボやリビングラボ に関心のある人を集めて大規模な国際会議を開催しており、各地のリビングラボの活動を、アーカイブし、発信する役割を担っている。当初は、ヨーロッパ圏だけの組織であったが、現在ではアジア諸国など様々な国のリビングラボ が ENoLL とよばれる連携ネットワークに加入している。また、このネットワーク加入にはリビングラボの活動実績などの条件があり、様々な条件を満たしたものだけが加入できるしくみとすることで、名ばかりのリビングラボではない、活動実績と遂行能力のあるとみなされたものだけが登録されるしくみとなっている。

リビングラボ自体は認定されるものではなく、自発的に名乗れるものであり、各国のリビングラボはその場所や主体企業等によってその活動も異なる。

ENoLL Office による Living lab の定義は下記の通りである。

What are Living Labs?

Living Labs are open innovation ecosystems in real-life environments based on a systematic user co-creation approach that integrates research and innovation activities in communities, placing citizens at the centre of innovation.

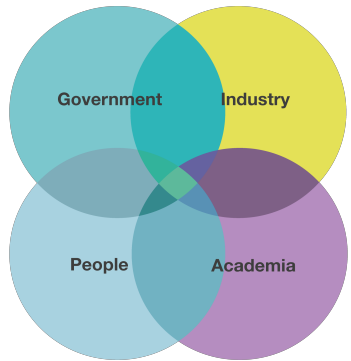




Open and User-centred Ecosystems

Living Labs operate as intermediaries among citizens, research organisations, companies, and government agencies or levels for joint-value co-creation, rapid prototyping or to scale up innovation and businesses.

Living Labs have common elements but multiple implementations.

Quadruple Helix of Engagement

研修内容 What you learned

まずはじめに、世界中のリビングラボを統括している ENoLL Office にて、リビングラボの実態や各国の連携、Office の取り組みについての視察を行い、アジア諸国での展開の様子や、日本との連携可能性についての議論を行った。また、リビングラボとしての成功例や、失敗例、リビングラボを継続するための手法についても、学んだ。次に、広くリビングラボの取り組みとして賞賛をうけている事例について、いくつか訪問し、実際の地域に落とし込んだ活動の様子を視察した。

研修先で特に印象に残ったこと The most impressive thing

研修先で印象に残ったこととしては、想像以上に多くのリビングラボが存在しているが、その継続が困難なこと、また、各国のリビングラボを統括する ENoLL Office では、EUを中心とした行政から要求されたテーマに合わせて、人材バンクとして登録されているメンバーの中から、分野横断型の新チームをつくることで、新たな調査や事業展開がうまれるなど、一つのリビングラボ内で完結しないしくみが整っていることが分かった。

歴史や文化が異なる国々で構成された EU 組織のために、分野や国境を超えた横断型の調査チームが必要となる際に ENoLL Office がもつネットワークが重要な役割を担っていることがわかった。



▲コペンハーゲンリビングラボにて